

最新ニュースをお届けします！



No.215



エゾシカのたいしくん、  
今までありがとう…。



12月1日の午後、スタッフに撫でられ、見守られながら、お空へと旅立ったたいし。とても悲しいで報告となってしまいました。

3日ほど前から急に立てなくなってしまい、何度も何度も自力で立とうとしていた姿は痛々しく、苦しんでいるのが伝わるものでした。何もしてあげられないもどかしさと葛藤しながらもお世話をしていた動物園スタッフも同じ気持ちでした。

御大師山のようにみんなを見守る存在であってほしいと名付けられたたいしは、穏やかで人懐っこく、なかよし動物園の中でも人気者でした。

今までたいしを可愛がってくれた皆さま、本当にありがとうございました。  
これからも、栗山公園に遊びに来られた際には、たいしのことを思い出してくれると嬉しいです。  
「たいし、長い間、お疲れ様でした。ゆっくり休んでね…。ありがとう…。」

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706  
指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】  
★栗山公園公式ホームページ  
<http://t-daria.com/parktop>



## 公営住宅入居者募集（中央南団地3号棟）

現在、中央4丁目に建設中の公営住宅「中央南団地3号棟」が2月下旬に完成する予定です。入居を希望される方は、期日までに建設課建築・住宅グループまで申し込みください。

【入居予定日】3月下旬

【住宅規模】◇木造二階建（オール電化）

◇一戸の床面積（1LDK 約54平方メートル）

【募集戸数】2階1LDK 1戸

【家賃】入居者の世帯収入や住宅の広さなどにより決定

【申込期限】2月13日（金）まで

【申込要件】◇町内在住または在勤の方

◇町内への就職など町内に居住することが必要となる方

◇住宅に困っていることが明らかである方

◇月額所得が収入基準を超えない方

【必要書類】入居申込書（建設課窓口で記入）、所得課税証明書（入居者全員分）、納税証明書、住民票（本籍の記載があるもの）

【入居の決定】申込締切後、実態調査を行い、審査のうえ決定します。

決定後、入居家屋の抽選を行い、所定の手続き終了後から入居できます。

【問い合わせ】建設課建築・住宅グループ ☎ 73-7512

## No.43 建碑から半世紀の「鴻業頌」記念碑

栗山警察署の裏手に、生垣に囲まれた大きな黒い石碑がありました。  
「鴻業頌」と刻まれた碑は、昭和51年に栗山土地改良区が農業水利事業の創始80年と、総合土地基盤整備事業の竣工を祝って建立した記念碑です。今年で建碑から50年、明治29年の夕張川の水利事業の開始からは、130年目の春を迎えました。  
碑の表面の題字「鴻業頌」は、当時の堂垣内北海道知事の揮毫で、漢字の「鴻」は「大きな」、「業」は「苦勞し成し遂げる」、「頌」は「褒め称える」の意味。繋げると「大事業を称賛する」言葉となります。栗山にとって明治期の水利事業と、その事業の恩恵は今も「鴻」と呼ぶべきものです。



栗山町土地改良区「鴻業頌」の碑

台座には初代の土功組合長だった泉麟太郎の歌と、歴代の組合長氏名。裏面の千字にも及ぶ碑文は、角田村水利土功組合から土功組合に変わり、戦後に土地改良区に至るまでの経緯と、栗山の発展の礎を築いた泉麟太郎たち先人の業績が刻まれています。鴻の字は大型の水鳥の意味もあり、夕張川に舞う白鳥をイメージしたのかも知れません。雪の中の碑は栗山を次の時代へ導くメッセージでした。

町史の隠れ家  
町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

YouTubeで  
歴史コンテンツ  
公開中！



町史資料調査室  
☎ 76-7820



動画の中で冬道の歩き方について語る移住Cコシモト。

栗山町移住コーディネーター  
文：腰本 江里沙  
（通称：移住Cコシモト）

元ネタの動画はこちら（移住の女神YouTube）



## 第11話「冬道の歩き方講座」

皆さんは冬道をどのように歩くか意識したことはありますか？長年北海道で暮らす私たちは、路面の状況を瞬時に判断し、無意識のうちに重心のかけ方や歩幅、リズムを調整して歩行しています。ですが、雪の降らないところから北海道への移住を考えている方たちにとってはまったくイメージがつかないようで、靴の選び方から雪に埋もれそうな時はどうしたらいいかなど、さまざまな質問が寄せられます。

12月のオンライン移住イベントで、『冬道の歩き方講座』と称した動画を流したところ、思いのほか反響がありました。言われてみれば、意外に誰も教え

てくれないことかもしれません。実践する私たちも自然と身についた技術としか言いようがなく、冬道の歩き方のコツを言語化するのはとても難しかったです。

思えば、学生時代にめったに雪が積もらない本州のとある地域に住んでいましたが、雪が積もって歩くのに難儀している友人たちを尻目にずんずん歩き進んでいて称賛を浴びたことがありました。これが北国で生まれ育った人間に宿るDNAなのか？と、思わぬところで郷土愛を感じたものです。

この冬暮らし体験に来る方たちには、みっちりレクチャーしようと思います。